

平成 29 年度

上下水道事業部の運営方針

<部の構成>

上下水道計画課、上水道整備室浄水課、上水道整備室上水道工務課、上水道保全課、下水道整備室汚水整備課、下水道整備室雨水整備課、下水道施設維持課

<担当事務>

- (1) 上下水道局の総合計画及びその調整に関すること。
- (2) 水道及び下水道の整備に関すること。
- (3) 上下水道局の工事の検査及び審査に関すること。
- (4) 上下水道局の危機管理に関すること。

<部の職員数>H29年4月1日現在

正職員	133名
再任用職員	24名
任期付職員	-名
非常勤職員	2名
合計	159名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

上下水道事業部では、市民生活に欠かせない、安全でおいしい水道水を安定供給するための水道事業と水環境の保全、大雨などによる浸水被害から市民生活を守る下水道事業に取り組み、市民にとって安全・安心で快適な暮らしにつながる施策・事業を実施しています。

平成 29 年度は、水道事業では中宮浄水場や鷹塚山配水場の更新事業を進めるとともに、老朽化した水道管の更新、改良、耐震化事業を推進します。また、鉛製給水管の解消に努めます。

下水道事業では、住居系地域での公共下水道汚水整備の平成 30 年度概成に向け取り組むとともに、下水道長寿命化計画に基づく予防保全型の計画的な改築更新を進めていきます。また、公共下水道雨水整備では、引き続き浸水被害の頻度が高い地域を中心に雨水管渠やポンプ場の整備を進めるとともに、下水道浸水被害軽減総合事業として雨水貯留施設の整備を進めます。

2. 重点施策・事業

(1) 水道管路更新・耐震化事業

目標	水道水を安定的に供給するため、水道管路の更新及び耐震化を効率的かつ効果的に進めるとともに、引き続き上水道施設整備基本計画の平成 30 年度策定に向けて取り組みます。
取り組み	約 10km の水道管路の更新、耐震化、改良事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替え及び上水道施設整備基本計画の策定を進めます。 平成 29 年度当初予算：2,686,000 千円

(2) 中宮浄水場更新事業

目標	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を平成 37 年度から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。
----	---

取り 組み	基本構想により検討した計画諸元に基づき、施設計画や施工方法の検討を行う基本設計に取り組みとともに、更新用地の既存建物の解体工事を完了します。
	平成 29 年度当初予算：115,000 千円

(3) 応急給水拠点の整備	
目標	大規模災害に備え、市民生活に最低限必要な水を確保し、応急的に給水ができる応急給水拠点の整備を進めます。 完成目標：鷹塚山配水場（平成 32 年度）、津田低区配水場（平成 33 年度）
取り 組み	平成 28 年度に着手した鷹塚山配水場更新工事を引き続き進めるとともに、津田低区配水場耐震化工事の実施設計に着手します。
	平成 29 年度当初予算：176,000 千円

(4) 下水道施設維持管理事業	
目標	浸水被害対策等に備え、下水道施設（水路、管渠）の清掃及び維持補修等を迅速に実施します。
取り 組み	下水道施設（水路、管渠）の清掃及び維持補修を実施するとともに、危険性・緊急性の高い老朽化した下水道管を更生し、適正な機能保全を図ります。
	平成 29 年度当初予算：1,081,757 千円

(5) 公共下水道汚水整備事業（住居系地域）	
目標	河川や水路、ため池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちをめざすため、公共下水道の整備を進めます。
取り 組み	住居系地域の汚水整備については、平成 30 年度概成をめざし、昨年度に引き続いて中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組みます。
	平成 29 年度当初予算：1,143,010 千円

(6) 公共下水道汚水整備事業（工場等事業所系地域）	
目標	工場等事業所系の汚水整備については、「行政と事業者」が協力し合うことを基本としながら実情に応じた効率的、効果的な手法で水循環の保全を図ります。
取り 組み	枚方七企業団地において未整備である枚方工業団地については、平成 27 年度に着手し、今年度も引き続き、平成 30 年度の完成を目途に整備を進めます。また、枚方東部企業団地については、平成 31 年度からの整備に向けた基本設計に着手します。
	平成 29 年度当初予算：97,000 千円

(7) 下水道施設の長寿命化対策	
目標	市民生活の安全確保を図るため、予防保全型を重視した計画的な下水道施設の改築更新を推進し、下水道施設の長寿命化と維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。
取り組み	平成 28 年度に策定した下水道長寿命化計画に基づき、汚水管渠及びポンプ場遠方監視設備の実施設計に取り組みます。
	平成 29 年度当初予算：92,085 千円

(8) 公共下水道雨水整備事業	
目標	浸水に強い安全で安心して快適に暮らせるまちとするため、雨水管渠やポンプ場の整備を推進し、浸水被害の軽減に取り組みます。
取り組み	浸水対策として、新安居川・溝谷川ポンプ場の排水能力向上に向けた整備や、下水道事業計画に基づいた雨水管渠・水路の整備を推進します。
	平成 29 年度当初予算：1,750,469 千円

(9) 下水道浸水被害軽減総合事業	
目標	近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、「下水道浸水被害軽減総合計画」に基づき、雨水貯留施設の整備を進め浸水被害の軽減に取り組みます。
取り組み	下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、蹠跽排水区では、サダ雨水貯留管整備工事を引き続き進め、楠葉排水区では、楠葉雨水貯留管整備工事に着手します。
	平成 29 年度当初予算：1,984,000 千円

3. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
31. 水道施設の計画的な整備・更新	給水人口や有収水量などの長期的な見通しを踏まえ、「上水道施設整備基本計画」を策定し、計画的に施設の整備、更新を進めます。その中で、水道施設のダウンサイジングや統廃合についても検討します。 また、中宮浄水場の更新については、効率的・効果的な施設の更新・運用を図る観点から、民間活力の活用も検討しながら、同施設の「基本構想・基本設計」を策定し、平成 37 年度の給水開始をめざします。
32. 下水道施設の長寿命化	老朽化した下水道施設の機能を適切に維持管理し、計画的に施設の改築・修繕を行うため「下水道施設長寿命化計画」の策定により、下水道施設の延命化と維持管理費の平準化を図ります。

改革課題	取り組み内容・目標
45-8. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（上水道施設維持管理業務）	漏水修繕業務については、直営との役割分担を踏まえつつ、道路掘削作業など、その一部に民間活力を導入し、事業者の技術の習得状況を確認しながら、技能労務職員の適正な配置を行います。
45-9. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（下水道施設維持管理業務）	浸水災害対応時のポンプ場の運転管理を基本に職員を配置していますが、ポンプ場の機器自動化や遠方監視設備の導入に合わせて配置基準の見直しを進めます。

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
工事発注等に係る事務処理の改善	既存のチェックシートを更新して活用することにより、業務の効率化を進めるとともに、事務処理の正確性を確保します。
水道維持管理業務における漏水修繕手法の検討	水道維持管理業務は、人材確保と技術継承が大きな課題となっていることから、平成 28 年度から実施している単価契約による給水管漏水修繕工事の工種を配水管の一部まで拡大することにより効率的な工事発注を行い、民間事業者の受注状況を検証します。
危機管理体制の充実	平成 28 年度に策定した危機管理マニュアルに基づいて、台風による大雨や地震などの自然災害、漏水事故等による断水に備え、速やかに対応できるように、定期的な訓練を実施します。

4. 予算編成・執行

- ◆水道事業については、災害に強い持続可能な水道をめざすとともに、これまで以上の経営の効率化・財政基盤の強化に向けた取り組みを進めます。
- ◆下水道事業については、整備事業に国費を活用するとともに、経営の効率化、経費削減に努め、一般会計からの基準外繰入金金の抑制を図りながら、独立採算に向けた取り組みを進めます。

5. 組織運営・人材育成

- ◆老朽化した上下水道施設の計画的な改築・更新や、適切な維持管理を図るために、効率的・効果的な組織運営に努めます。
- ◆水道・下水道の将来を担うエキスパート職員を長期的視点で育成するとともに、部内のジョブローテーションや専門研修等を活用し、職員の資質や能力の向上に努めます。

6. 広報・情報発信

- ◆市民の皆様が安心して水道水を利用できるよう、施設の更新・耐震化事業や水質管理についての情報発信を行います。
- ◆市民の皆様が安心できるようホームページやリーフレット等を活用した浸水対策事業等の下水道事業の見える化を進めます。また、ホームページによる工事の進捗状況のお知らせや現場見学会を実施するなどの情報発信に努めます。



浸水対策のリーフレット（平成 28 年 9 月作成）